

京都市上海情報拠点レポート(2019年4月・5月分)

1 統計

○訪日旅行者数(中国)

・2019年4月 726,100人(2018年4月 683,377人)(伸率 6.3%)

・2019年5月 756,400人(2018年5月 668,600人)(伸率 13.1%)

※出典「日本政府観光局(JNTO)」

○京都市内ホテル対象宿泊延べ人数(中国)

・2019年4月 64,706人(2018年4月 51,699人)(伸率 25.2%)

対象施設数:56ホテル

・2019年5月 65,003人(2018年5月 50,529人)(伸率 28.6%)

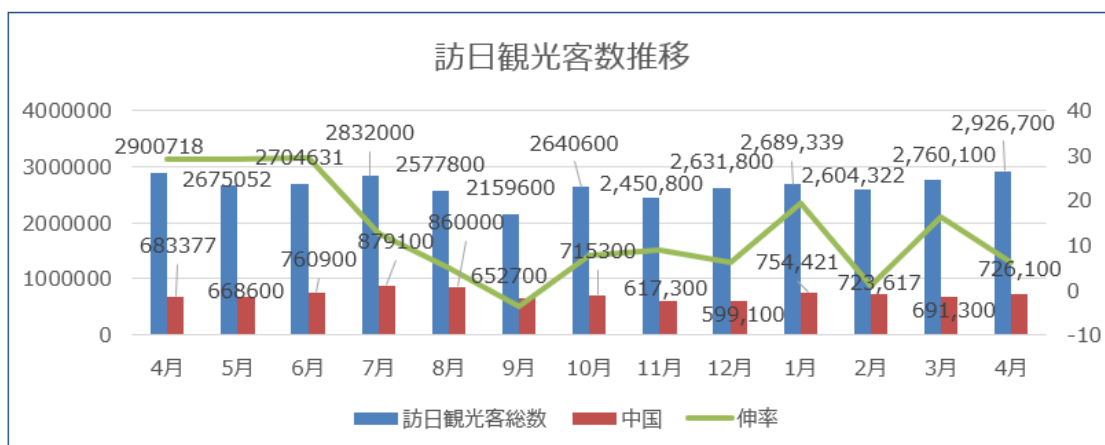
対象施設数:57ホテル

※出典「京都市観光協会データ月報」

2 市場動向

旅行業界関連トピックス

■中国からの訪日者数



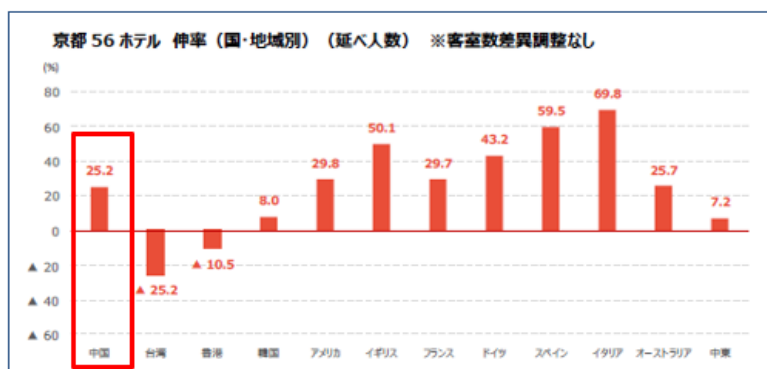
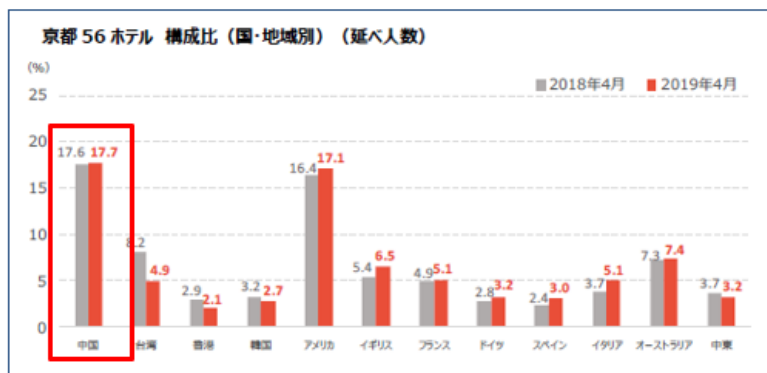
*本表での伸率は前年同月比を表しています。

2019年4月の訪日外客数は、前年同月比0.9%増の292万7千人。2018年4月の290万1千人を約3万人上回り、単月として過去最高を記録した(これまでの過去最高は2018年4月の290万1千人)。また、4月までの累計は1,098万1千人となり、1,000万人を超えた。

昨年は3月末であったイースター休暇が今年は4月となり、欧米豪市場を中心に影響を受けたことに加え、桜鑑賞等を目的に訪日需要が高まる春に向けて各市場で展開した訪日旅行プロモーションの効果もあり、訪日者数は前年同月を上回った。一方で、日本のゴールデンウィークが10連休となり訪日旅行商品の高騰、日本国内観光地の混雑等を理由として訪日旅行者数が多い東アジア市場を中心に訪日需要が抑えられたことから、訪日外客数全体の伸びは鈍化した。

市場別では、中国は4月として過去最高を記録した。
(6月18日時点 JNTO 訪日観光客4月データより引用)

■ 中国からの訪日観光先



公益社団法人 京都市観光協会「平成31年(2019年)年間外国人客宿泊状況調査」より引用

京都 56 ホテルにおける 2019 年 4 月の外国人比率は、前年同月を 4.0 ポイント上回る 56.3%に達した。この数値は、15 ヶ月連続で前年同月を上回るもので、また、単月としての過去最高値を更新した。ゴールデンウィーク期間における臨時調査では、4 月 27 日～30 日の 4 日間の外国人比率の平均値が 31.7%となるなど、今年は 10 連休効果もあり、日本人比率が特段高かったにも関わらず、4 月全体では外国人比率が高い水準となったことから、連休前までの期間の外国人比率は極めて高かったと推察される。その中でも中国は 17.7%と昨年よりさらに増加が見られた。

日本観光イベントトピックス

■ 4 月-5 月の市場動向トピックス

中国は、前年同月比 6.3%増の 726,100 人で、4 月として過去最高を記録。日本のゴールデンウィークの影響による訪日旅行商品の価格高騰が一部見られたものの、旺盛な訪日需要を新規就航や増便による航空座席供給量の増加が後押しし、訪日者数は前年同月を上回った。
(JNTO 訪日観光客データより引用)

■ 4-5 月の主なプロモーション活動

①中国大手ポータルサイト Sina(新浪)とタイアップし、中国のタレント維維 VIVI を起用して、人気 WEB 旅行番組「Hi,走啦～邂逅北海道の冬～」を制作した。第 1 話では小樽オルゴール堂や藻岩山の夜景を、第 2 話では星野リゾートマムでのスキー体験や旭山動物園を紹介し、それぞれ 3 月 15 日、18 日に放映した。4 月に入り、再生回数は 2,000 万 PV を超え、大きな注目を浴びた。また番組の公開にあわせ、JNTO 公式 Weibo アカウントの記事転送を条件としたプレゼントキャンペーンを実施し、さらなる情報拡散を図った。

②4 月 17 日に上海市内にて「2019 上海 VISITJAPAN 観光商談会」を開催した。日本のランドオペレーターや地方自治体等観光関係者 33 団体、上海、蘇州、南京、無錫、杭州市の中国の旅行会社 33 社が参加し、新たな訪日旅行商品の造成に向け、活発な商談が行われた。
(JNTO 訪日観光客データより引用)

